

エコニュース さって



第 27 号

平成 21 年 5 月 15 日
幸手市市民環境会議
(さって市民環境ネット)
TEL48-0331

水辺再生事業に、浮島づくり！



平成 21 年度の埼玉県水辺再生事業に、行幸湖の
「浮島づくり」が選定されました。

昨年、募集された案件の中から、「権現堂調節池」が選ばれ、他の 26 件とともに 4 月から事業が始まることになりました。 *応募件数 243 通、137 箇所

第 1 回権現堂調節池水辺再生推進会議が 4 月 27 日（月）行幸湖の管理所で開催され、「浮島づくり」は新たな展開の第 1 歩を踏み出しました。次回の会議は、5 月 21 日に開かれます。

さいたまコープ事業助成団体活動発表・交流会に参加して

5 月 9 日（土）にコーププラザ浦和（さいたまコープ）の大会議室にて、2008 年度助成 43 団体の中から、今回 6 団体の発表が行われました。

私達の“さって市民環境ネット”も「第 4 回行幸湖浮島づくり」の取組みについて久保田さんからパワーポイントを使って説明がありました。

内容は昨年 6 月 8 日（日）に総勢 80 人が参加して浮島 2 基の組立てで行幸湖に浮かべる事業活動です。昨年は地元のロータリークラブの初参加もあり、また、そのあと高校総体のイベントとして行った栗橋高校の生徒達による 2 基の浮島づくりにと発展したことも報告されました。

交流会では 5 グループに分かれてディスカッションが行われ、他の団体の活動報告も一部あり、情報交換の場としても大変有意義でした。今回、初めて参加して、県内でも多数の団体が活動していることを教えられ、勉強になった一日でした。（高久）

五霞町でも浮島づくり

5 月 11 日（月）五霞町の小・中学生が浮島を 1 基づくり、行幸湖に浮かべました。

まず、西小学校の 6 年生 28 人がバスで、行幸湖畔の童夢公園に着きました。やる気満々、さっそく袋に炭を入れる作業に取りかかりました。さって市民環境ネットの 4 人は五霞町のみなさんのお手伝いをして、子どもたちと一緒に一汗かきました。袋をイカダに積んだところで、小学生は下校の時間になり、後は中学生 16 人が自転車で駆けつけて作業を引き継ぎました。お決まりの進水式、そしてイカダに乗って余韻を楽しみました。

浮島は 10 基に増え、また一周行幸湖に活動の波紋（輪）が広がりました。（本田）

落葉リサイクルで腐葉土づくり

ジャガイモ植えたよ！**<第 38 回（新年度、第 5 回）腐葉土づくりの会>**

3 月 15 日（日）9 時半から 20 人が参集しました。春になり三寒四温で菜種梅雨的に雨降りが多く天気が心配でしたが、前日午後から雨も止んで、風が強く寒かったけれど、久しぶりに晴れました。

野澤代表幹事から作業手順の説明で腐葉土の 2 床の切り返し、ジャガイモのタネイモ切り（芽を残して 50 g 程度にして灰付けと日干しを行い、殺菌処理する）、ジャガイモの植付けの準備のための畝作り（雨上がりで一寸土に水気が多かったが）の 3 グループに分かれて作業しました。各グループの作業を終了後、全員が畑に移動して、手分けして畝に沿って約 40cm 間隔で 30kg（キタアカリ 15kg、メイクイン 15kg）のタネイモの植付け、タネイモの間に化成肥料（チッソ：リン：カリ＝8：8：8）を施肥、土かけを行いました。

次回、4 月 19 日（日）も、9 時半開始で、腐葉土の切返しと第 1 回熟成腐葉土の分配、畑の草取りを予定し散会しました（澤村）。

なお、平成 18 年 5 月から、約 3 年間、ジャガイモ、サツマイモ、エダマメ栽培のためにお借りした畑の持ち主の「つるや」さんに会長と事務局が 14 日（土）お礼の挨拶を行いました（澤村）。

腐葉土の第 1 回分配**<第 39 回腐葉土づくりの会>**

4 月になって非常に雨が少なく、また 3 月下旬から通年より寒かったため、桜の開花宣言後、満開になるのに日数が多くかかりました。

その中で、4 月 19 日（日）9 時半に 17 人が参集しました。冒頭、事務局から年度始めであり新年度計画（案）を皆さんに配布しました。また総会を 6 月に開催する旨を案内しました。本田会長の挨拶があり、野澤代表幹事からの作業手順の説明に従って 2 グループに分かれて作業しました。男性中心のグループは腐葉土の切返し作業を行うとともに、まだ熟成不十分ですが 5 月連休時の家庭菜園用としてキュウリ、ナス、トマト、カボチャなどの植付けのために腐葉土を 100 袋ほど（サツマイモの元肥用、学校配布用を含めて）詰めました。女性中心のグループは、野澤代表幹事の指導で、3 月は雨が多く、また 3 月雨上がり後で土が少しぬかっていたところへの種ジャガイモの植付けと、植付け後、足で踏みつけたことと相まって土が固まってしまい、そして 4 月に入ってから雨が少なく乾燥してしまってジャガイモの芽が伸びにくくまた根も張りにくいということで、ジャガイモの芽が伸びやすくするため固まった土の崩し作業を行いました。

その後、5 月のサツマイモ苗植えに対して元肥として腐葉土を 20 袋ほど撒きました。

最後に、各自に必要な腐葉土（袋数）を分配し（100 円/袋）、5 月は連休中の都合の良い日のジャガイモの芽欠き・追肥・土寄せと、17 日（日）のサツマイモ苗植えの 2 回開催することを案内して散会しました（澤村）。

市民環境講座 身近な環境問題をシリーズで学ぶ

今年 2 年目となる市民環境講座、【地球温暖化とエネルギー 1/17】【クイズでアタック「食」と「農」 2/10】【エコ・省エネゲーム 2/21】【幸手菜の花プロジェクト 3/10】を企画し、多くの参加者を迎えて開催することが出来ました。

参加された一人ひとりが身近な環境問題を考え、行動するきっかけになればと…まず、身のまわりの出来る事からエコにチャレンジしてみましょう！

皆さんが手にする商品の容器や包装には多くの種類があります。

シリーズ最後の講師は、日本包装技術協会（さって市民環境ネットメンバー）の澤村邦夫さん。容器包装ごみの現状とユニバーサルエコボトルを始め、CO₂排出削減量や企業努力による軽量化(薄肉化)やパルプモールド梱包などの事例説明がありました。

某シャンプーの算定結果では、製造過程より個人段階のエネルギー使用が全体の 9 割を占めることには皆さん驚いていました。リユースとしての詰め替え容器や、リサイクル製品を選ぶこと、また中身を含めて表示を確認して商品を購入することも大切です。

その後行われたリサイクルサンプル指導では、アルミ缶・スチール缶・ガラスびん・PET ボトル・プラスチック製容器包装・紙製容器包装、6 つの教材の原料から製品までを実際に手に取り確認しました。（宮田）

2009 年度も市民環境講座の開催を予定しています。（4 回程度）

ごみ削減関連、グリーンコンシューマー普及活動など取組事例を解りやすく説明し、実践出来る市民向け環境講座や小中学校への出前講座を開催いたします。

皆さんのご参加をお待ちしています。

希望講座テーマなどありましたら、環境課までお寄せください。

<第 40 回腐葉土つくりの会>

ジャガイモの芽が生長していることが確認できました。

5 月 3 日（日）9 時から GW 中の急な案内にもかかわらず 14 名が直接農園に参集しました。今年は雨が少なく、土が固くジャガイモの芽が地面からカオを出してない株もあって生長が心配でしたが、前回、固まった土を崩した効果もあってバラツキはありますが大半の芽が生長していました。元肥として乾燥汚泥土、化成肥料、腐葉土（少量）の効果もあってか葉の色は青々としていました。野澤代表幹事の指導のもとで先ず草取りをした後、ジャガイモの芽欠き、追肥（化成肥料、チッソ：リン：カリ＝8:8:8、液肥）、土寄せを行いました。土が固いために全員で土を崩しながら土寄せをすることに汗をかきました。

次回は、事前に畑を耕して貰い、5 月 17 日（日）、サツマイモ苗植え、ジャガイモの再土寄せ、少量の追肥（？）を行うことを案内して散会しました（澤村）。



埼玉県夏のライフスタイル キャンペーン

地球の未来のために、今

エコライフDAYは7月5日です！

幸手市では、平成17年にはじめて実施して、今回で5回目になります。昨年からは夏のキャンペーンに参加しています。昨年は、洞爺湖サミットが開かれるなど、運動も盛り上がり、幸手でも7千人近くの参加者がありました。

NHKのキャンペーンのとおり「明日では遅すぎる！」今年も皆さんの多数の参加をお待ちしています。詳細は、広報さって6月号をご覧ください。

ハウネンエビ見つけた！

5月9日（土）に配島さんが千塚団地にある田んぼで、ハウネンエビの発生を確認しました。2枚の田んぼで無数にかわいい泳ぎを見せています。中には、昨年までハウネンエビが発生していたのに、今年は休耕になった田んぼもありとても残念です。

最近、各地で「生きものブランド米」が名乗りを上げています。「めだかのお米」「どじょう米」「つるの里米」など。田んぼは人と生きものたちの大事な接点です。（本田）

菜の花プロジェクト始めるぞ！

権現堂堤の菜の花は、今は訪れる人もありませんが、日一日と実をふくらませています。5月末か、6月初めには菜種の刈り取りをしようと計画中ですが、まだ実施日が決まっています。参加してみようと思う人は連絡をください。お待ちしております。

連絡先：本田 42-8412

幸手の環境活動グループ：幸手権現堂桜堤保存会、権現堂川地域環境保全協議会、幸手自然愛護会、幸手地産地消研究会、幸手ひがし幼稚園、エコ・グリーン幸手、くらしの会、上高野婦人会、倉松探検隊

市民環境会議・さって市民環境ネットは、「環境基本計画」に市民の皆さんの声を織り込むために作業してきました。そして今、環境ナビ（幸手市HP）、エコライフDAY、中川探検、腐葉土づくり、浮島づくり、グリーンコンシューマー運動などの活動に取り組んでいます。あなたも参加しませんか。いつからでも誰でも参加できます。

問合せは、本田（42-8412）まで。